

2024.6 初夏号

# シー・ジー・ジェイだより

*Cardiovascular hospital of Central Japan*



医療法人 北関東循環器病院

〒377-0061 群馬県渋川市北橘町下箱田 740

TEL : 027-232-7111

027-288-0076(地域連携室)

FAX : 027-233-9092

027-288-0305(地域連携室)



# 新年度ご挨拶

## 最近思うこと

内科 院長補佐 市川 明子



ここ数年、山の上にあるような当院でも外国人の患者さんが増加し、グローバル化を肌で感じるようになりました。そして言語の壁にぶつかります。大抵は日本語を話すことができる友人などを連れてきている方が多いのですが、きちんと相手の症状や要望に沿つて医療を施しているかどうか甚だ疑問に感じます。

アジア圏の方の多くは日本人と似ており、そこまで説明を求めないことが多いのですが、欧米諸国の方は細胞レベルではなくとも組織や小器官レベルで相談してくることもあります。外国によくある民間医療保険制度などでは1人30分時間をとっても成り立つかもしれませんが、日本のような国民皆保険制度で外国と同等のレベルを外来で求められると時間が押してしまいその後の診療が大幅に遅れてしまいます。

また一人で来院される高齢者の方も増えてきました。家族が忙しく、送迎まではしてくれても診察室には一人で入ります。「糖尿病ですよ」と話していても本人は自分が糖尿病であることを理解していなかった、腎不全と話していてもずっと心不全だと勘違いしていたといった事例もよくあります。外国人も増え、少子高齢化も加速し今後もこのような問題が増えるのだろうと思

います。

また、最近の円安は、輸入に頼ることが多い医薬品や医療材料に少なからず影響を与えています。ロシアのウクライナ侵攻あたりから、一部の医薬品が品薄になり必要な品、量を確保できなくなったことも記憶に新しいです。GDPも今年はドイツに抜かされ4位におち、経済大国日本であった自負も崩れつつあります。出生率も2をきり、群馬県の上毛カルタでも「ちからを合わせる190万」に減りました。高齢化に拍車がかかり、生産年齢人口が益々少なくなります。医療現場は介護が必要な高齢者が増えるにもかかわらず、労働者不足、そもそも国家財政はこれ以上医療費にあてる余裕がなくなっております。この負の連鎖を断ち切るためにには、少子化に歯止めをかけてなくてはなりません。直近の問題としては業務を効率化し生産性をあげる必要があります。

少子化対策のため行政も子育て支援を強く推し進めておりますが、当院でも支援を拡充したい、福利厚生に不妊治療を追加したいなど希望はあります。医療従事者は女性職員が多いこともあり、産休、育休取得率が他業種と比べると多く、育休をとる男性職員も

増えてきました。育休をとる職員がたくさんいることは企業としてとても健全なことで喜ばしいところではありますが、現実的にはまだまだシステムが未熟で育休の職員の留守中は、残された職員さんに負担をかけてなんとか業務を切り盛りしている状態です。休みをとるほうも肩身が狭くなってしまいます。解決にあたり職員増員も考えられますが、不確実なコストが発生します。業務の効率化は必須と考えられます。

セキュリティ対策は必須ですが、今後は業務効率化のためのDX化が急務になってきていると感じます。DX (Digital Transformation) 化とは、業務をデジタル化し課題を解決するだけでなく、ビジネスモデルを変える取り組みですが、業務の効率化により減った事務処理時間などをhospitalityなど他の業務に充てる、紙の消費削減がSDGsにつながる、といった期待を持てます。当院でも近い将来そのよう

な取り組みを行いたいと思っております。

最近はVUCA (V: volatility 変動性、Uncertainty: 不確実性、Complexity: 複雑性、Ambiguity: 曖昧性) の時代と言われています。変化を察知し、情報を収集し、災害対策など過去の事例を参考にし、新しいことのチャレンジや変革を厭わず常にイノベーションできるように柔軟に対応したいです。当院のCardiovascular Hospital of Central Japanの頭文字 CCJは創設20周年のキャッチコピーとして Challenge, Change and Jump to the Futureでしたが、30周年には Continual Challenge and Jump “Next Stage” に変化しました。しかし、この時代再度 Change が大切になってくると考えます。不安要素がたくさんある時代ですが前をむいて地域医療に貢献できるよう地道に取り組みたいと思います。

## 新任医師ご挨拶



循環器科 中野 考英



今年度より北関東循環器病院に配属となりました中野考英（なかの たかひで）と申します。

群馬大学を卒業後、大学病院や県内の関連病院、横浜市内の病院で研鑽を積んで参りました。循環器疾患は冠動脈疾患や不整脈、心不全、弁膜疾患、血栓症など多岐にわたります。何かお困りのことや不安なことがございましたらご相談ください。群馬県の地域医療と病院の発展に微力ながら貢献できるよう頑張って参ります。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

## ご 報 告 新年度に入り、各行事を行いました！

4月1日(月)

+\*+ 入 職 式 +\*+



医師、看護師、医療技術職員、事務職員の計 19 名が入職しました。

## 消防避難訓練を実施しました

5月20日(月)

渋川消防隊の皆さん立会いのもと消防避難訓練、消火活動の実技指導が行われました。



## Report

4月10日(水)

### 永年勤続表彰式



勤続 30 年 2 名  
20 年 1 名  
10 年 13 名  
5 年 13 名

の表彰を行いました。

## Report



## 職場・部門紹介

## 地域医療連携部

地域医療連携部 室長補佐 斎藤 昂輝

地域医療連携部は元々あった地域医療連携室に病床管理やドクタークラークなどのスタッフを合わせて2024年4月に創設された部署です。院長補佐の市川明子をトップとして地域の先生方や患者さんと当院を繋ぐ架け橋として効率的な地域連携を行う事を目標としています。

業務内容としては、ベッドコントロール、連携業務、医療相談、医師事務補助、診療報酬管理があり、それぞれが地域との繋がりを強固にするため、日々業務にあたっています。

まだ不慣れな部分も多く、至らない点も多々あるかと思いますが、「入口から出口まで」のシームレスな対応が出来るように日々研鑽に努めております。



## 業務紹介

## ● 病床管理（ベッドコントロール）

病床管理では、予約入院や緊急入院の患者さんの入院するベッドを割り振る業務を行っております。当院は、一般病棟（7対1）2病棟と障害者施設等一般病棟（10対1）1病棟があり、様々な患者さんの入院に対応しております。

日々ベッド状況を把握し、入院が決定した患者さんがスムーズに入院出来るように努めて参ります。

## ● 連携業務

患者さんや御家族からの外来予約や地域の医療機関の紹介予約業務などを行っています。地域医療連携の窓口として分かりやすく丁寧な対応を心掛けております。また、

返書管理も行っており、ご紹介いただいた先生方には早急にお返事が出来るように対応させていただきます。

患者さんの紹介や逆紹介がスムーズに行えて的確な診療を受けられるように努めています。

## ● 医療相談（医療ソーシャルワーカー）

医療ソーシャルワーカーは、病気になって今まで通りの生活が送る事が難しくなった患者さんやご家族を社会福祉の立場からサポートします。相談を受けた方の話をうかがい、「自分らしい生活」が送れるように活用できる公的制度や、社会資源と一緒に探していくます。また、経済的な問題や療養中の心理的・社会的な問題の解決についても

利用可能な制度やサービスの紹介を行います。

何かご不安な事があれば、まずは気軽にご相談ください。

### ●医師事務補助（ドクタークラーク）

ドクタークラークとは、医師の業務負担軽減を目的として、医師の指示のもと事務的な業務をサポートする職種です。4月より地域医療連携部に配置となりました。主な業務としては、各種書類作成や外来での処方箋の発行、書類作成（紹介状、主治医意見書等）、カルテ代行入力（検査オーダー、入院申し込み等）、外来診療補助（病名入力、検査結果入力等）など多岐にわたる業務を行っています。

質の高い医療を患者さんに受けていただけるように医師

のサポートを行い、専門知識の習得、技術向上を目指しドクタークラーク全員で病院全体に貢献できるよう日々自己研鑽に努めています。

### ●診療報酬管理

診療情報管理では、病院の機能向上のため、院内の各部署と適切な診療報酬管理に取り組んでいます。また、施設基準も合わせて確認し、病院の安定した運営に寄与しています。

患者さんが安心して受診や入院をしていただけるように院内の機能拡充を目指します。

## 当院でのPD(腹膜透析)カンファレンス取り組みについて

透析室看護師 永井 千加

当院では、2019年より腹膜透析治療を開始しました。現在では13名の患者さんが治療を行っております。腹膜透析は自宅で行う治療の為、病院で患者さんの状態を逐次確認する事は困難であり、訪問看護師との連携がとても重要です。そんな中、連携強化の一環としてPDカンファレンスを開始しました。

PDカンファレンスは、毎月第一火曜日15時より当院で行っており、メンバーは3つの訪問看護ステーションの看護師の他、医師、栄養士、医療ソーシャルワーカー、病棟看護師、臨床工学技士、透析室看護師、ドクタークラーク、



透析室事務、腹膜透析の医療品情報担当者が参加して、患者さんの現状（今後の手術予定（SMAP SPIED法等）、現在のSMAP実施者、離脱者等の報告をしております。また、4月には症例報告（横隔膜交通症）、5月には研究発表（腹膜透析出口部感染率を下げるための継続的な質改善活動）を行い、知識の向上も図っております。

今後も当院ではチーム医療を基盤として患者さんやご家族との信頼関係を形成し、バランスのとれた腎代替療法を実践、推進していきます。



## 外来診療予定表

令和6年6月現在

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
外 来	午 前 新	・松尾 ・船田①③⑤ ・中野②④	・佐藤 ・船田 ・(熊倉)	・市川(明) ・白倉	・佐藤 ・八木	・佐藤 ・岩崎	・鈴木① ・中野②④⑤ ・高山③
		・市川 ・船田 ・松尾 ・中野②④ ・眼科(星野) ・呼吸器(鈴木)	・高山 ・熊倉 ・佐藤 ・船田 ・中野 ・市川(明) ・心臓血管外科(中島) ・眼科(天内) ・皮膚科(月2回) ・糖尿病(小和瀬)	・市川(明) ・岩崎 ・八木 ・白倉 ・腎臓(廣村) ・眼科(天内)	・高山 ・佐藤 ・船田 ・八木 ・心臓血管外科(中島) ・大動脈・静脈瘤・シャント(坪井④) ・泌尿器科(久保田) ・眼科(天内) ・眼科(松本)	・市川 ・佐藤 ・岩崎 ・腎臓(林) ・呼吸器(武藤) ・眼科(天内)	・白倉 ・中野②④⑤ ・澤田 ・鈴木①③ ・市川(啓)①③ ・眼科(天内)
		・高山 ・船田	・八木	・松尾 ・(熊倉) ・循環器内科(石井②④)	・市川(明) ・中野	・白倉	
	午 後 再	・高山 ・熊倉 ・岩崎 ・船田 ・整形(重田) ・泌尿器科(久保田)	・市川 ・八木 ・松尾 ・心臓血管外科(中島) ・大動脈・静脈瘤・シャント(坪井) ・群大脳外科 ・眼科(天内) ・糖尿病(大山)	・高山 ・佐藤 ・松尾 ・血管病(熊倉) ・眼科(天内) ・骨粗鬆症(重田) ・泌尿器科(久保田) ・糖尿病(霞田)	・高山 ・伊藤 ・中野 ・北條 ・心臓血管外科(中島①③④⑤) ・大動脈・静脈瘤・シャント(坪井①②③⑤) ・泌尿器科(久保田) ・ペースメーカー②④	・熊倉 ・白倉 ・整形(重田) ・眼科(天内)	午後 休診

### 診療受付時間

8:30~11:30/13:30~16:30

(土曜午後・日曜・祝祭日は休診です)

※急患はこの限りではありません  
24時間いつでもご連絡ください

### 地域連携室

予約変更・転院相談につきましては  
直通電話にてご連絡ください。**直通電話: 027-288-0076****直通FAX: 027-288-0305**

(平日9:00~16:00)

### 面会について

感染対策のため、引き続き面会に際しましてはお電話での予約をお願いいたします。

